

学校では、どれくらい水を使っているでしょう。



なな

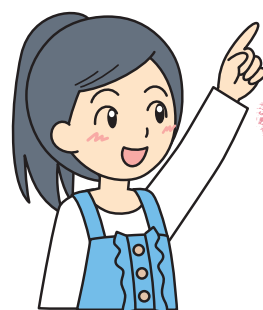
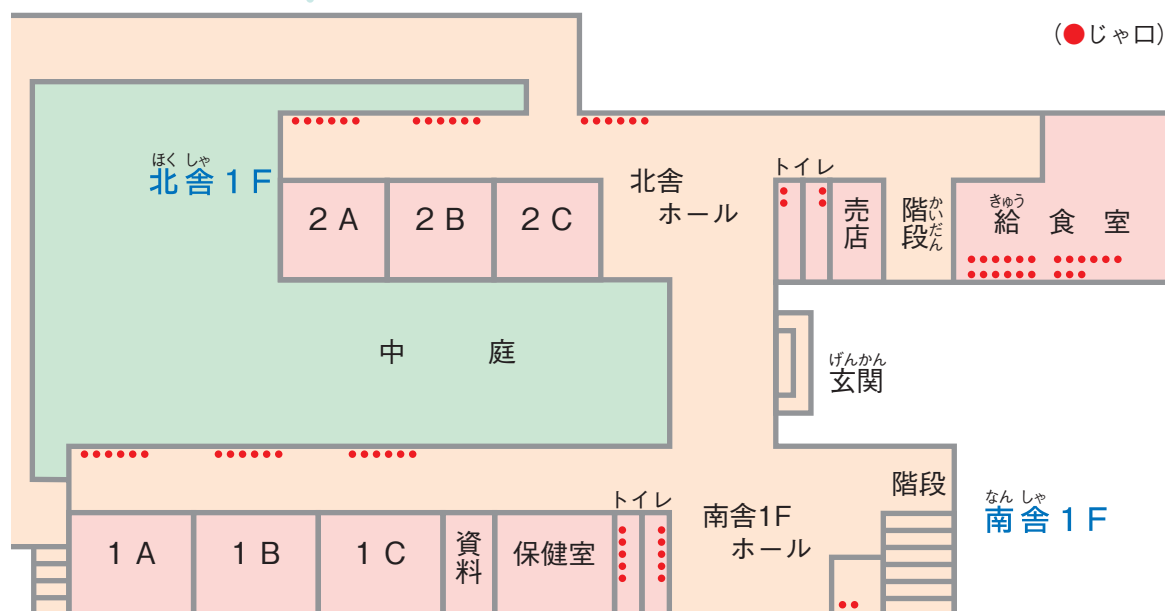
自分たちの学校には、どこに、いくつじゃ口があるのかな。

②くらしと水 ④と選たく

じゃ口調べ わたしたちの生活に欠かすことのできないのが、水です。水は水道のじゃ口をひねればすぐに出てきます。

ななさんの学校では、水道について調べるため、まず、じゃ口調べをしました。

【学校のじゃ口調べ】



くみ

給食室には、たくさんのじゃ口があるね。

この水はどこからきているのかな。



なな

ななさんたちは、水道について調べ始めました。



配水池

南国市の水道の水ができるまでを調べてみましょう。

南国市の水道の水の使用量

〈一日に〉
プール50はい分
〈一人が一日に〉
430～440L

南国市の水道水がとどくまで



すいげん ち 水源地

しずいせい 取水井は地下水のよく出るところに作られるんだね。

けん

南国市では地下水を使っているんだね。

こうじ

タンクにためられた水は半日～1日で入れかわるんだって。

まわりの市町村ではどうかな？

水の使用量がふえたのはどうしてでしょう。

水道のひろがり 水道局のおじさんからいただいた資料やお話によると、上水道がつくられるまでは、南国市のほとんどの家が、自分の家の庭に井戸をほって、地下水をくみ上げて、飲み水にしていました。

その後、水道がどんどんつくられて、今では約4万1千人（南国市の人口の約86%）が、市の水道を使うようになりました。（2018年度）

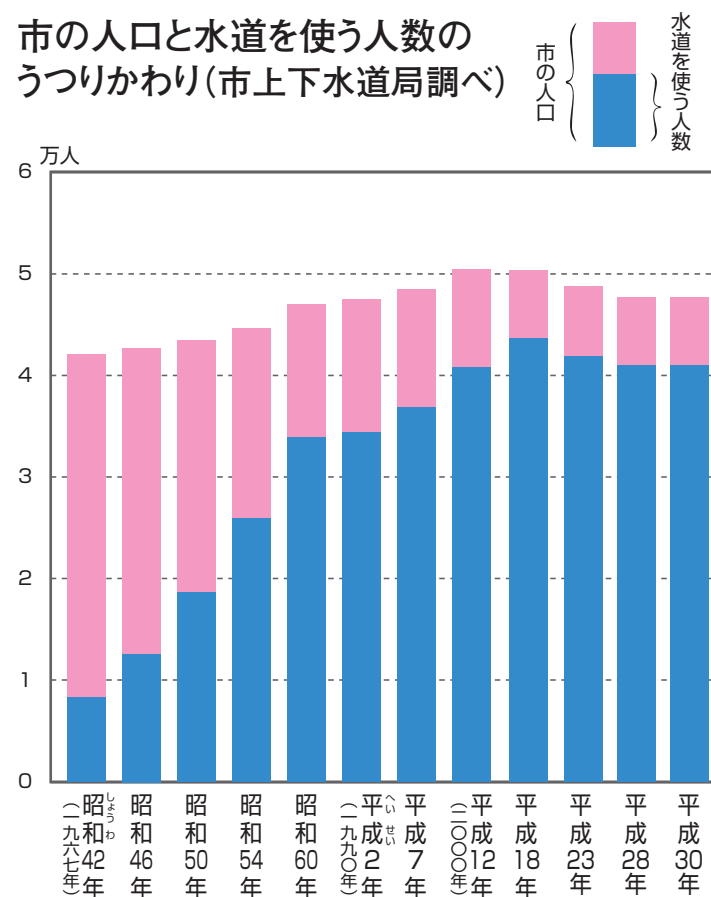


上下水道局のおじさん

南国市の上水道は、1950（昭和25）年に、はじめて稲生につくられました。

1946（昭和21）年の南海大地震の後、地盤がかわり、稲生では、井戸水に塩分がまじるようになりました。そこで、困った人たちの願いによって、きれいな水のできる水道をつくりました。そして、この水道から2200人くらいの人に水が送られるようになりました。

市の人口と水道を使う人数の
うつきかわり(市上下水道局調べ)



市の水道のひろがり



(平成29年 南国市上下水道局資料より作成)